

5/29

ふれあいコンサート



第3種郵便物認可

郡上大中小でミニコンサート

ドイツ・ミュンヘンを拠点に活躍するチェロ奏者の松山翔子さん(右)とピアノスト木村理恵さん(左)が二十九日、郡上市の大中小学校でミニコンサートを開き、繊細なメロディーで児童らを魅了した。約百十人の児童も二人の演奏に合わせて合唱し、心温まるハーモニーを響かせた。

子どもたちの夢を後押ししようと、国際ソロプチミスト岐阜・郡上が二人を招いた。松山さんは岐阜市出身で、父親が元名古屋フィルハーモニー交響楽団員の松山大樹さん(左)。大樹さん率いる合奏団に同校の沢幸子教諭(右)がチェロ奏者で参加しており、この日はビバルディの楽曲で共演。児童はチェロの伸びやかな音色に聞き入った。松山さんはチェロの音が出る仕組みを説明したほか、海外経験で学んだことも語った。「自分がどんな土地で育ち、どんな文化を持っているかを伝えられることがとても大事」と訴えた。最後の合奏で児童らは息の合った歌声を堂々と披露。松山さんは「皆が合唱を楽しんでいるのがとても感じられ、すごいと思っただ」と感心していた。(林勝)

チェロを奏でる松山さんと合唱で共演する児童ら=郡上市の大中小で

ちゅうにちしんぶん しょうかい
ふれあいコンサートのようすが、三十日の
中日新聞で紹介されました。



ほごしほのみなさん、ちいきのみなさん、さんかかしてくださいました。ケーブルテレビが取材に来てくれました。

